

令和5年度府中市立府中第七中学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（生徒の学び方）

- ① 学習の習慣が身に付いていないため、基礎的・基本的な学力の充実が課題である。
- ② つまずきの原因をつかみきれず、必要な学習が十分に行えていない。
- ③ 苦手な課題に対して、どう取り組むかが十分に把握できていない。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ① 学習習慣を身に付けさせることが課題である。
- ② 生徒自身がつまずきの原因を理解できるような指導が十分とはいえない。
- ③ 個々の生徒の学習進度に応じた教材の提示が十分とはいえない。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す生徒の学びの姿

- ① 朝学習や学習マラソンを通して、学習習慣を身に付ける。
- ② どこがわからないか、どうすれば理解に繋がるかを掴んだうえで学ぶ。
- ③ 仲間と協力し粘り強く諦めずに苦手な課題にも取り組む。

(2) 目指す授業像

- ① 家庭学習を支援し、充実させる。
- ② つまずきの原因に気づかせ、それを克服するための手立てを示す。
- ③ 個に応じた学習教材の準備や協働的な学習の機会を充実させる。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	生徒自身が各教材の目標を踏まえ、課題を把握し、学習の見通しがもてるようにさせる。また互いに対話することで、内容を的確に捉えさせ、自らの考えを深められるようにさせる。	美術	創作活動の喜びを味わい自ら構想を練ったり意図に応じて表現方法を追求し、自信を持って制作できる力の育成。（基礎的な技術や知識を身に付けるため作業工程を細分化し確認しながら授業を進める。）
数学	基礎的・基本的な学力を定着するために、帯活動として計算問題に毎時間取り組ませる。習熟度別クラスにより、扱う教材や課題を変えて個に応じた学びの機会を充実させる。	技術	日常生活において活用できる基礎的・基本的な技術（身の回りの技術）に関心を持たせるために、各領域の要点をまとめたプリントでノートを完成させる。実習作業を重視し、作品を完成させる達成感と技能を身につけさせる。
社会	単元を貫く課題を設定し、資料を活用して考え、他者との意見交流を通じて自分の考えをさらに深め、粘り強く課題解決に取り組む態度を身に付けさせる。	家庭	学習に向かう姿勢を整えるため、授業ごとの達成目標やねらいを明確に示し、生徒に発言を促し、発表や話し合い、教え合いをしやすい授業を心がける。
理科	観察・実験を中心とした授業を構成し、自然への見方・考え方を豊かにするとともに、考察を充分に行うことで思考力の向上を目指す。	保健体育	生涯スポーツ推進の観点から、楽しく体を動かす活動を多く取り入れる。また共生社会を明るく過ごせることを目指すために男女共習の活動を実践する。

令和5年度府中市立府中第七中学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

音楽	生徒が学習内容を理解するために、分かりやすい発問の工夫や他者の意見を聞いて考えを深められるようにグループワークを充実させる。	外国語	帯活動で会話の練習を行い、質問や、その質問に対する応答を自然にできるように訓練する。教科書の音読練習に力を入れ、英単語とイントネーションを間違いなく読めるように指導する。
----	--	-----	---

(2) 生徒用タブレット端末の活用

- ・ 数学のグラフの特徴や図形問題を Gaebra などのアプリを使用して実験的に調べる。
- ・ 社会や理科など情報収集の場面でインターネットや e-library の百科事典を活用する。
- ・ 国語や英語など意見交換や発表の場面でジャムボードやスライドを活用する。
- ・ 英語、数学などデジタル教科書を活用する。